

2008年度第2四半期連結決算概要

平成20年10月31日

東ソー株式会社

1. 業績

(単位：億円)

	2008年度第2四半期	2007年度第2四半期	増 減	2007年度	2008年度
売上高 (単 独)	4,258 (3,103)	4,000 (2,797)	257 (306)	8,274 (5,768)	8,600 (5,800)
営業利益 (単 独)	120 (107)	307 (185)	△187 (△78)	591 (363)	220 (140)
経常利益 (単 独)	136 (168)	295 (206)	△159 (△39)	525 (373)	220 (210)
当期純利益 (単 独)	53 (105)	149 (130)	△96 (△26)	252 (210)	100 (140)
1株当たり当期純利益 (単 独)	8円88銭 (17円45銭)	24円94銭 (21円72銭)	△16円06銭 (△4円27銭)	42円05銭 (35円01銭)	16円70銭 (23円35銭)

2. 指標

	2008年度第2四半期	2007年度第2四半期	増 減	2007年度	2008年度
為替[TTM期中平均](円/\$)	106.12	119.40	△13.28	114.44	105.56
国産ナフサ価格(円/KL)	77,950	58,750	19,200	61,450	68,975

3. その他

(単位：億円)

	2008年度第2四半期	2007年度第2四半期	増 減	2007年度	2008年度
設備投資額 (単 独)	305 (183)	341 (164)	△35 (19)	727 (386)	510 (300)
減価償却費 (単 独)	293 (177)	178 (107)	115 (70)	423 (250)	590 (360)
研究開発費 (単 独)	74 (47)	68 (40)	6 (6)	136 (83)	150 (95)
期末有利子負債 (単 独)	4,021 (2,760)	3,652 (2,420)	370 (340)	3,655 (2,507)	3,880 (2,570)
金融収支 (単 独)	△25 (11)	△20 (12)	△4 (△1)	△48 (10)	△60 (0)
自己資本比率(%) (単 独)	22.9 (29.0)	23.9 (30.0)	△1.0 (△1.0)	24.3 (30.2)	- (-)
期末従業員数(人) (単 独)	11,272 (2,569)	11,144 (2,524)	128 (45)	11,088 (2,510)	11,300 (2,500)

(注) 億円未満は四捨五入

トピックス

<08年 4月>

自家発電設備の増設

(88万1千kW → 103万5千kW)

<08年 4月>

苛性ソーダの製造設備能力増強

(1,205千 → 1,373千トン/年)

<08年 5月>

ポリウレタン原料及びその誘導品の製造・販売会社である
日本ポリウレタン工業の株式を追加取得

(51.67% → 80.28%)

<08年 5月>

キュメンの製造設備能力増強

(230千 → 300千トン/年)

<08年 冬 予定>

ハイシリカゼオライトの製造設備を四日市事業所に新設

<08年 冬 予定>

ジルコニアの製造設備を四日市事業所に新設

<10年 春 予定>

エチレンアミンの製造設備能力増強

(53千 → 79千トン/年)

<12年 春 予定>

エチレンアミンの製造設備能力増強

(79千 → 89千トン/年)

事業セグメント別連結売上高

2008年度第2四半期 対 2007年度第2四半期

(単位：億円)

			2008年度第2四半期	2007年度第2四半期	増 減	増 減 要 因	
			金額	金額		数量差	価格差
石油化学	東 ソ ー	オ レ フ ィ ン	967	980	△ 13	△ 234	221
		ポ リ マ ー	330	313	17	△ 24	41
		計	1,297	1,293	4	△ 258	262
	連結子会社	計	57	51	6	1	5
	小 計	計	1,355	1,344	10	△ 257	267
基礎原料	東 ソ ー	化 学 品	405	393	12	△ 44	56
		セ メ ン ト	59	57	1	△ 4	5
		計	463	450	13	△ 48	61
	連結子会社	計	609	481	128	69	59
小 計	計	1,072	931	141	21	120	
機能商品	東 ソ ー	有 機 化 成 品	103	107	△ 4	△ 9	4
		バ イ オ サ イ エ ン ス	54	49	5	5	0
		機 能 ・ 電 子 材 料	96	99	△ 3	△ 9	6
		計	253	255	△ 2	△ 13	11
	連結子会社	計	1,323	1,233	91	124	△ 33
小 計	計	1,576	1,488	88	111	△ 23	
サービス(連結子会社)	小 計	255	236	18	18	0	
東 ソ ー	東 ソ ー	2,013	1,999	15	△ 319	334	
	連結子会社	2,245	2,002	243	213	30	
	合 計	4,258	4,000	257	△ 107	364	

(注) 億円未満は四捨五入

2008年度予想 対 2007年度実績比較

			2008年度(予想)	2007年度	増 減	増 減 要 因	
			金額	金額		数量差	価格差
石油化学	東 ソ ー	オ レ フ ィ ン	1,643	1,970	△ 327	△ 391	64
		ポ リ マ ー	676	634	42	△ 30	72
		計	2,319	2,604	△ 285	△ 422	137
	連結子会社	計	115	104	11	△ 4	14
	小 計	計	2,434	2,709	△ 275	△ 425	151
基礎原料	東 ソ ー	化 学 品	863	773	90	10	80
		セ メ ン ト	124	116	8	△ 6	14
		計	987	889	98	4	95
	連結子会社	計	1,217	1,069	148	104	45
小 計	計	2,204	1,958	247	107	139	
機能商品	東 ソ ー	有 機 化 成 品	228	217	11	△ 17	28
		バ イ オ サ イ エ ン ス	110	101	10	9	1
		機 能 ・ 電 子 材 料	204	202	2	△ 22	24
		計	543	520	23	△ 29	52
	連結子会社	計	2,899	2,595	305	380	△ 75
小 計	計	3,442	3,115	328	351	△ 23	
サービス(連結子会社)	小 計	519	493	26	26	0	
東 ソ ー	東 ソ ー	3,850	4,014	△ 164	△ 447	283	
	連結子会社	4,750	4,260	490	506	△ 16	
	合 計	8,600	8,274	326	59	267	

(注) 億円未満は四捨五入

東ソー単独 部門別売上高

2008年度第2四半期 対 2007年度第2四半期

(単位：億円)

		2008年度第2四半期	2007年度第2四半期	増 減	増 減 要 因	
		金額	金額		数量差	価格差
石油化学	オレフィン	985	995	△10	△231	221
	ポリマー	422	390	32	△19	52
	計	1,407	1,385	22	△251	273
基礎原料	化学品	1,221	917	304	143	162
	セメント	59	57	1	△4	5
	計	1,280	974	306	139	167
機能商品	有機化成品	158	158	△1	△7	7
	バイオサイエンス	110	113	△3	0	△3
	機能・電子材料	148	166	△18	△22	4
	計	416	438	△22	△29	7
合 計		3,103	2,797	306	△141	447

(注) 億円未満は四捨五入

2008年度予想 対 2007年度実績比較

		2008年度(予想)	2007年度	増 減	増 減 要 因	
		金額	金額		数量差	価格差
石油化学	オレフィン	1,672	2,001	△329	△393	64
	ポリマー	863	799	64	△10	74
	計	2,534	2,800	△265	△403	138
基礎原料	化学品	2,260	1,980	281	217	64
	セメント	124	116	8	△6	14
	計	2,385	2,096	289	210	78
機能商品	有機化成品	345	322	22	△18	41
	バイオサイエンス	230	223	7	14	△7
	機能・電子材料	306	327	△20	△42	22
	計	881	872	9	△46	55
合 計		5,800	5,768	32	△238	271

(注) 億円未満は四捨五入

事業セグメント別 連結営業利益

2008年度第2四半期 対 2007年度第2四半期

(単位：億円)

		2008年度第2四半期	2007年度第2四半期	増 減
		金額	金額	
石油化学	東 ソ 一	40	68	△ 28
	連結子会社	2	2	0
	連結調整	3	1	2
	計	45	71	△ 26
基礎原料	東 ソ 一	△ 18	8	△ 26
	連結子会社	11	4	6
	連結調整	△ 1	0	△ 1
	計	△ 8	12	△ 20
機能商品	東 ソ 一	85	110	△ 25
	連結子会社	△ 33	91	△ 124
	連結調整	14	6	8
	計	66	207	△ 141
サービス	連結子会社	17	17	0
	連結調整	1	0	1
	計	18	17	0
合計	東 ソ 一	107	185	△ 78
	連結子会社	△ 3	115	△ 118
	連結調整	17	7	10
	合計	120	307	△ 187

(注) 億円未満は四捨五入

2008年度予想 対 2007年度実績比較

		2008年度(予想)	2007年度	増 減
		金額	金額	
石油化学	東 ソ 一	67	145	△ 78
	連結子会社	3	3	0
	連結調整	6	2	4
	計	76	150	△ 74
基礎原料	東 ソ 一	△ 115	9	△ 124
	連結子会社	25	15	10
	連結調整	0	3	△ 3
	計	△ 90	27	△ 117
機能商品	東 ソ 一	188	210	△ 22
	連結子会社	4	166	△ 162
	連結調整	10	4	6
	計	202	380	△ 178
サービス	連結子会社	30	33	△ 3
	連結調整	2	1	1
	計	32	34	△ 2
合計	東 ソ 一	140	363	△ 223
	連結子会社	61	217	△ 156
	連結調整	19	11	8
	合計	220	591	△ 371

(注) 億円未満は四捨五入



平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月31日

上場会社名 東ソー株式会社
 コード番号 4042 URL <http://www.tosoh.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土屋 隆
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理室長 (氏名) 石川 克美
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月11日 配当支払開始予定日 平成20年12月2日

上場取引所 東

TEL 03-5427-5123

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	425,775	—	12,009	—	13,574	—	5,318	—
20年3月期第2四半期	400,035	6.8	30,689	36.2	29,463	27.4	14,939	30.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	8.88	8.88
20年3月期第2四半期	24.94	24.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	856,142	229,151	22.9	327.72
20年3月期	816,994	242,361	24.3	331.69

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 196,165百万円 20年3月期 198,606百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
21年3月期	—	4.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	860,000	3.9	22,000	△62.8	22,000	△58.1	10,000	△60.3	16.70

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 601,161,912株 20年3月期 601,161,912株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 2,588,392株 20年3月期 2,395,205株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 598,670,113株 20年3月期第2四半期 598,916,365株

※決算予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 連結業績予想は、本資料の発表日現在に入手可能な情報に基づいております。従いまして今後の国内外の経済情勢や予測不可能な要素等により、実際の業績は現在予測している数値と大幅に異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の3ページを御参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(平成20年4月1日～平成20年9月30日)のわが国経済は、原油等資源価格の高騰や世界的な金融危機を背景とする世界経済の低迷により、個人消費、輸出が減少に転じる等、景気の後退が顕著となりました。

化学業界におきましては、原油、ナフサのみならず石炭等資源価格が急上昇いたしました。一方製品の海外市況は堅調に推移しましたが、輸出においては円高、国内においては製品への価格転嫁の遅れから、収益面では厳しい事業環境となりました。

このような情勢の下、当社グループの連結業績は、売上高は4,257億75百万円(前年同期比6.4%増)となりましたが、原燃料価格の高騰に伴うポリエチレン樹脂、ウレタン原料、塩化ビニルモノマー等の主要製品の採算悪化、積極投資による償却費等固定費の増加等により、営業利益は120億9百万円(同60.9%減)、経常利益は135億74百万円(同53.9%減)、四半期純利益は53億18百万円(同64.4%減)とそれぞれ大幅な減益となりました。

事業別の概況は次のとおりです。

石油化学事業

オレフィン製品は、定期修繕の実施やスチレンモノマーの合弁事業の解消により、国内外ともに出荷が減少いたしました。一方、主原料であるナフサ等の価格が高騰しましたが、クラッカー原料の多様化によりコスト上昇を抑制するとともに、国内ではエチレン、プロピレン、アロマ製品の価格の是正を実施し、キュメンの海外市況も上昇いたしました。

ポリエチレン樹脂は、国内外ともに出荷が減少しましたが、国内ではナフサ価格の上昇を受けて製品価格の是正を実施いたしました。クロロブレンゴムは、海外市況が上昇し、輸出が増加いたしました。ペースト塩ビは、製品価格の是正を実施いたしました。

この結果、売上高は1,354億54百万円(前年同期比0.7%増)となりましたが、営業利益は44億50百万円(同37.2%減)となりました。

基礎原料事業

苛性ソーダは、昨年実施した能力増強が寄与し、国内外ともに出荷が増加いたしました。また、需給バランスの逼迫、原燃料価格の高騰を受けて、国内では製品価格の是正を実施し、海外市況も上昇いたしました。塩化ビニルモノマーは、中国における需要が期末に減退し、輸出が減少しましたが、海外市況は上昇いたしました。塩化ビニル樹脂は、公共投資の低迷や住宅着工の落ち込みの影響等により国内出荷は減少しましたが、中国子会社における新規設備の稼働開始に伴い海外での出荷は増加いたしました。また、原燃料価格の上昇に伴う製品価格の是正を実施し、海外市況も上昇いたしました。

セメントは、官需・民需ともに低迷したため国内出荷は減少しましたが、輸出は増加いたしました。製品価格については、石炭価格の上昇に伴い是正を実施いたしました。

この結果、売上高は1,072億12百万円(前年同期比15.1%増)となりましたが、営業損益は8億37百万円の損失となりました。

機能商品事業

臭素、重金属処理剤、エチレンアミンの出荷は減少しましたが、エチレンアミンを始めとする各製品において継続的な価格の是正を実施いたしました。

計測関連商品は、液体クロマトグラフィー用カラムの出荷が堅調に推移したものの、充填剤の出荷は低調に推移いたしました。診断関連商品は、体外診断用医薬品の輸出が若干減少したものの、全自動エンザイムイムノアッセイ装置は国内外ともに出荷が堅調に推移いたしました。また、糖尿病診断用自動ヘモグロビン分析装置及び関連試薬は、国内出荷が堅調に推移いたしました。

電解二酸化マンガンは、国内外ともに出荷が増加し、原燃料価格の高騰を受けて製品価格の是正を実施いたしました。ジルコニアは、国内外ともに出荷が減少いたしました。ゼオライトは、国内外ともに出荷が堅調に推移いたしました。

石英ガラスは、メモリ価格低下に伴うデバイスメーカーにおける半導体設備投資の減退により、熔融石英材料を中心に出荷が減少いたしました。スパッタリングターゲットは、半導体用途向けの出荷は堅調に推移いたしました。液晶パネル用途向けの出荷は、フラットパネルディスプレイ市場の市況回復が遅れたため減少いたしました。

水処理装置・薬品は、世界的な景気の減速を背景とした設備投資の減少や設備稼働率低下の影響を受け、売上高が減少いたしました。

ウレタン原料は、能力増強に伴い輸出が増加し、売上高が増加いたしました。

この結果、売上高は1,576億20百万円(前年同期比5.9%増)となりましたが、営業利益は66億21百万円(同68.0%減)となりました。

サービス事業

販売子会社の業績は堅調に推移しましたが、建設子会社の売上は減少いたしました。この結果、売上高は254億87百万円(前年同期比7.8%増)となり、営業利益も17億75百万円(同2.3%増)となりました。

なお、前年同期比は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、原料価格の高騰により売上債権及び棚卸資産が増加した結果、前期末に比べ391億47百万円増加し8,561億42百万円となりました。

負債は、原料価格の高騰による仕入債務の増加、借入金の増加により、前期末に比べ523億58百万円増加し6,269億90百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定及び少数株主持分の減少により、前期末に比べ132億10百万円減少し2,291億51百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、わが国経済は世界的な金融危機を背景とした世界経済の低迷及び急激な株安、円高の進行等金融市場の混乱により、景気の一層の下振れが懸念されます。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、塩化ビニル樹脂、ウレタン原料等の主要製品の海外市場における需要の減退が見込まれること、また原油価格の急落を受け主要製品の海外市況の軟化が進行していること、さらにナフサ価格上昇時には利益を押し上げていた在庫評価の影響が一転して利益圧迫要因となる等、厳しい状況下に置かれるものと想定しております。

このような情勢の下、販売の拡大、製品利幅の確保、生産、販売、管理等全てのコストの低減等、収益力の回復に向けてあらゆる施策を実施してまいります。

通期の業績につきましては、売上高は8,600億円、営業利益は220億円、経常利益は220億円、当期純利益は100億円を予想しております。

なお、通期業績予想における下期の前提については、国産ナフサ価格を60,000円/KL、為替レートを105円/US\$、140円/ユーロとしております。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在に入手可能な情報に基づいております。従いまして今後の国内外の経済情勢や予測不可能な要素等により、実際の業績は現在予測している数値と大幅に異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

これにより、従来の方法によった場合と比較して、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ2,842百万円減少しております。

③連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を当第1四半期連結会計期間から適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これにより、期首資本剰余金を218百万円及び期首利益剰余金を2,802百万円それぞれ減額するとともに従来の方法によった場合と比較して、営業利益が91百万円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ36百万円減少しております。

④リース取引に関する会計基準等の適用

「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))を当第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

この変更による損益への影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,019	28,338
受取手形及び売掛金	214,223	197,637
商品及び製品	97,050	84,159
仕掛品	14,048	10,368
原材料及び貯蔵品	41,320	35,154
その他	24,818	22,564
貸倒引当金	△690	△758
流動資産合計	421,791	377,465
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	164,485	145,134
その他(純額)	175,802	196,346
有形固定資産合計	340,288	341,481
無形固定資産	12,921	14,309
投資その他の資産		
投資有価証券	46,331	50,005
その他(純額)	—	33,732
その他	35,571	—
貸倒引当金	△762	△0
投資その他の資産合計	81,140	83,738
固定資産合計	434,350	439,528
資産合計	856,142	816,994

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	139,282	121,465
短期借入金	201,325	175,481
1年内償還予定の社債	—	20,000
未払法人税等	8,899	9,912
引当金	9,181	12,551
その他	35,726	34,139
流動負債合計	394,414	373,551
固定負債		
長期借入金	200,813	170,009
退職給付引当金	19,253	18,892
その他の引当金	5,337	4,915
その他	7,171	7,262
固定負債合計	232,575	201,080
負債合計	626,990	574,632
純資産の部		
株主資本		
資本金	40,633	40,633
資本剰余金	30,069	30,289
利益剰余金	124,207	124,124
自己株式	△1,013	△950
株主資本合計	193,897	194,097
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,609	4,827
繰延ヘッジ損益	△7	△14
土地再評価差額金	815	815
為替換算調整勘定	△2,148	△1,120
評価・換算差額等合計	2,268	4,509
新株予約権	217	143
少数株主持分	32,768	43,611
純資産合計	229,151	242,361
負債純資産合計	856,142	816,994

(2) 四半期連結損益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	425,775
売上原価	358,149
売上総利益	67,626
販売費及び一般管理費	55,616
営業利益	12,009
営業外収益	
受取利息	165
受取配当金	706
為替差益	827
受取保険金	2,391
その他	1,763
営業外収益合計	5,855
営業外費用	
支払利息	3,331
持分法による投資損失	404
その他	554
営業外費用合計	4,290
経常利益	13,574
特別損失	
固定資産除却損	703
その他	442
特別損失合計	1,145
税金等調整前四半期純利益	12,428
法人税等	8,155
少数株主損失(△)	△1,045
四半期純利益	5,318

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	石油化学	基礎原料	機能商品	サービス	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	135,454	107,212	157,620	25,487	425,775	-	425,775
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	73,489	50,044	11,245	37,647	172,427	(172,427)	-
計	208,944	157,257	168,866	63,135	598,202	(172,427)	425,775
営業利益又は営業損失(△)	4,450	△837	6,621	1,775	12,009	-	12,009

所在地別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	370,623	55,151	425,775	-	425,775
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	36,317	1,720	38,038	(38,038)	-
計	406,941	56,872	463,813	(38,038)	425,775
営業利益	9,700	2,308	12,009	-	12,009

海外売上高

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	アジア	その他の地域	計
1. 海外売上高	106,285	43,759	150,045
2. 連結売上高			425,775
3. 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	25.0	10.3	35.2

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

(1) 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
	金額
I 売上高	400,035
II 売上原価	317,409
売上総利益	82,625
III 販売費及び一般管理費	51,936
営業利益	30,689
IV 営業外収益	
受取利息	184
受取配当金	728
動産不動産賃借料	219
技術供与料	108
受取保険金	571
その他	989
計	2,800
V 営業外費用	
支払利息	2,933
為替差損	332
持分法による投資損失	321
その他	439
計	4,026
経常利益	29,463
VI 特別利益	
土地等売却益	54
計	54
VII 特別損失	
土地等売却損	6
固定資産除却損	625
その他	235
計	867
税金等調整前中間純利益	28,650
法人税、住民税及び事業税	12,732
少数株主利益	978
中間純利益	14,939

(2)セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前中間連結会計期間(自平成19年4月1日至平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	石油化学	基礎原料	機能商品	サービス	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	134,446	93,147	148,792	23,647	400,035	-	400,035
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	50,872	32,465	3,097	32,881	119,316	(119,316)	-
計	185,319	125,613	151,889	56,529	519,352	(119,316)	400,035
営業費用	178,233	124,426	131,207	54,794	488,662	(119,316)	369,345
営業利益	7,085	1,186	20,681	1,735	30,689	-	30,689

所在地別セグメント情報

前中間連結会計期間(自平成19年4月1日至平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	351,577	48,457	400,035	-	400,035
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	27,019	2,299	29,319	(29,319)	-
計	378,596	50,757	429,354	(29,319)	400,035
営業費用	350,831	47,833	398,664	(29,319)	369,345
営業利益	27,765	2,924	30,689	-	30,689

海外売上高

前中間連結会計期間(自平成19年4月1日至平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	アジア	その他の地域	計
1. 海外売上高	95,520	40,955	136,476
2. 連結売上高			400,035
3. 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	23.9	10.2	34.1